

こんにちは！ ゼニガタアザラシ研究グループです



皆さんは、ゼニガタアザラシという動物を知っていますか？

ゼニガタアザラシは道東の沿岸部から南千島列島に生息しています。

私たちゼニガタアザラシ研究グループでは、毎年、道東の各地で個体数調査(センサス)を行っています。

ゼニガタアザラシは絶滅の危機に瀕している動物です。しかし、漁師さんにとっては魚を食い荒らしてしまう厄介者なのです。

人間とゼニガタアザラシはどうしたら共存していけるのでしょうか？

この展示を見て、少しでもゼニガタアザラシに興味をもってもらえればうれしいです。



帯広畜産大学 ゼニガタアザラシ研究グループ

ホームページアドレス：<http://www.geocities.co.jp/NatureLand/8556/webzenibeya.htm>

ゼニガタアザラシってどんな動物？

皆さんはゼニガタアザラシって知っていますか？ゴマフアザラシは有名ですが、ゼニガタアザラシはあまり知られてないと思います。まずは、ゼニガタアザラシがどんな動物なのか紹介します。

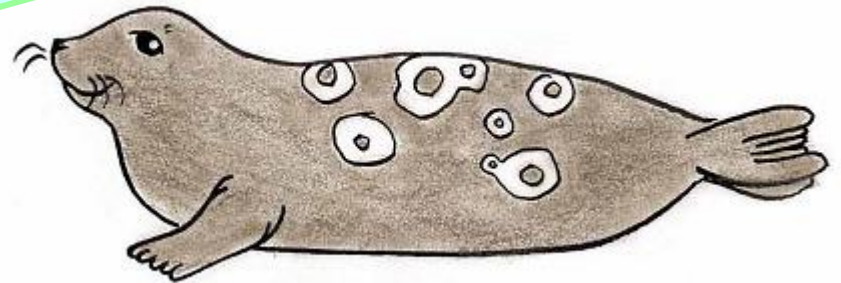


体の模様が昔のお金の形に似ていることから、「ゼニガタ(銭形)アザラシ」と呼ばれています。

この模様は生まれた時からあり、一生変わりません。また、一頭ずつ異なっているので、この模様から**個体識別**をすることができます。

※ 個体識別とは

模様の違いで1頭1頭を見分けることを個体識別といいます。個体識別をすることによって、寿命や、どの個体がどこで何をしているかを知ることができます。



からだについて

オス

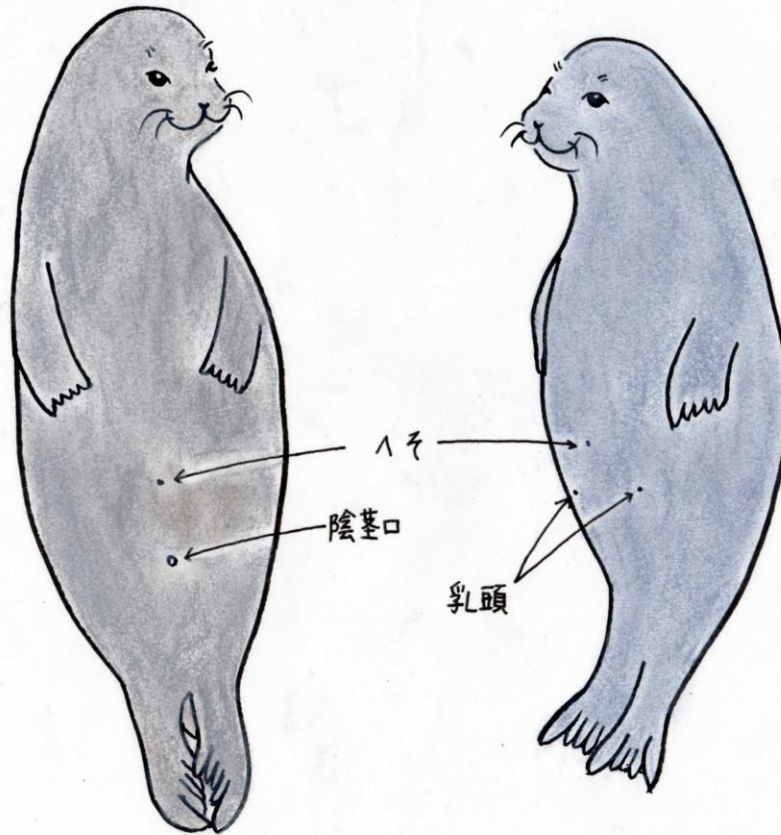
メス

〈歯〉上18本、下16本。この歯には年輪ができるので、その輪の数を数えると年齢が分かります。

〈あし〉前後とも泳ぎやすいようにひれの形をしています。



後肢



〈耳〉耳たぶはありません。

〈鼻〉水中では閉じていて、呼吸をする時に開きます。

〈脂肪〉皮膚の下に分厚い脂肪の層を持っています。
この脂肪のおかげで冷たい海でも体温を一定に保つことができます。

体長170~200
cm

体長150~170
cm

体重160~180
kg

体重110~120
kg

このように、水中での生活に適した体をしています。

ゼニガタアザラシの赤ちゃん

アザラシの赤ちゃんはみんな白いと思っていませんか？実は、ゼニガタアザラシの赤ちゃんは白くありません。

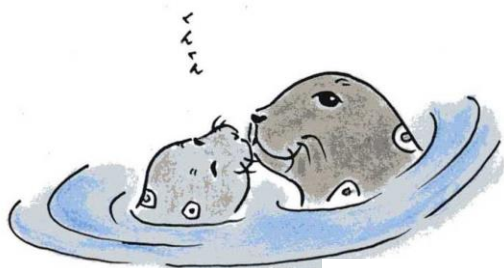
岩場で生活するゼニガタアザラシにとって、白い毛では逆に目立ってしまいます。だから、赤ちゃんはお母さんのお腹の中で白い毛を脱ぎ、大人と同じ、黒地に白い銭型模様という姿で生まれてきます。



←ゴマフアザラシの赤ちゃん

ゼニガタアザラシの赤ちゃん↓

僕たちを比べてみて！

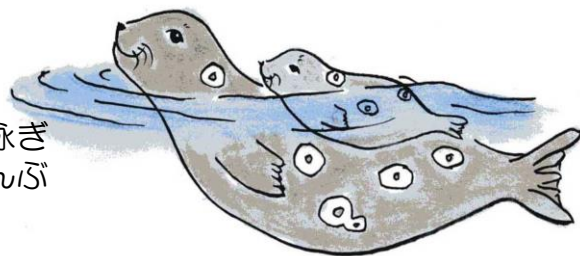


〈ノーズトゥノーズ〉

鼻と鼻をくっつけてお互いをにおいで確認し合います。

〈おんぶ〉

体力のない赤ちゃんは泳ぎ疲れるとお母さんにおんぶしてもらいます。



赤ちゃんの生まれた時の体重は約10kg。それから、脂肪分45%という濃いお乳（人間は約3.5%）を飲んで1ヶ月後には体重約30kgに成長し、お母さんと別れます。

どんな生活をしているの？

一年を通じて、沿岸の岩場でゴロゴロしたり、海で泳いだりしています。

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|

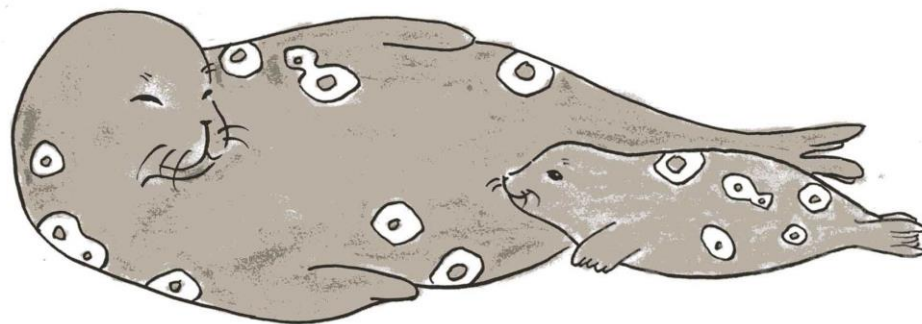
繁殖期

4月～5月にかけて、赤ちゃんが生まれます。お母さんは4週間つきっきりで世話をし、泳ぎ方やエサのとりかたを教えます。

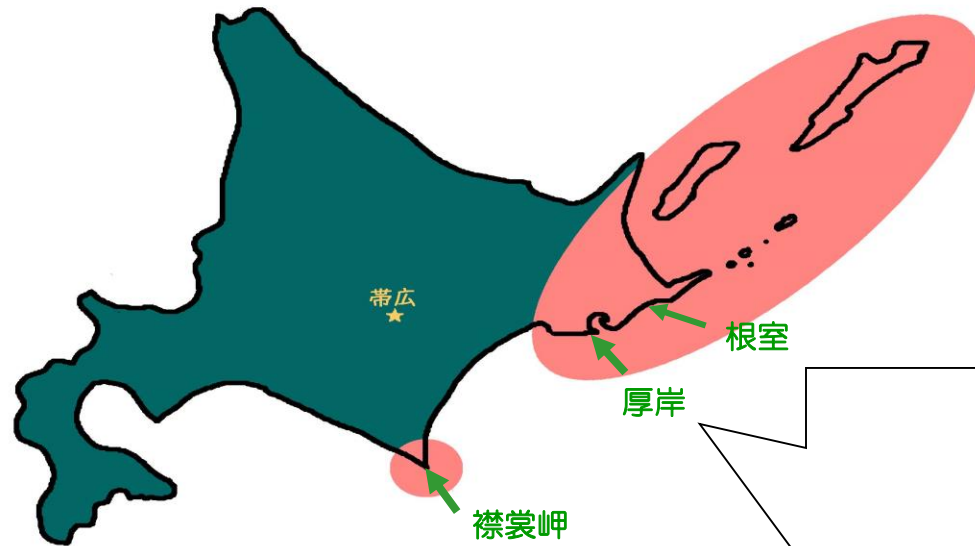
6月には子育てを終え、交尾をします。この時期、オスはメスを奪い合ってケンカするため、傷を負ったオスが見られることがあります。

換毛期

7月～8月には、毛のはえかわりを進めるために、普段より多くのアザラシが岩礁に上がります。

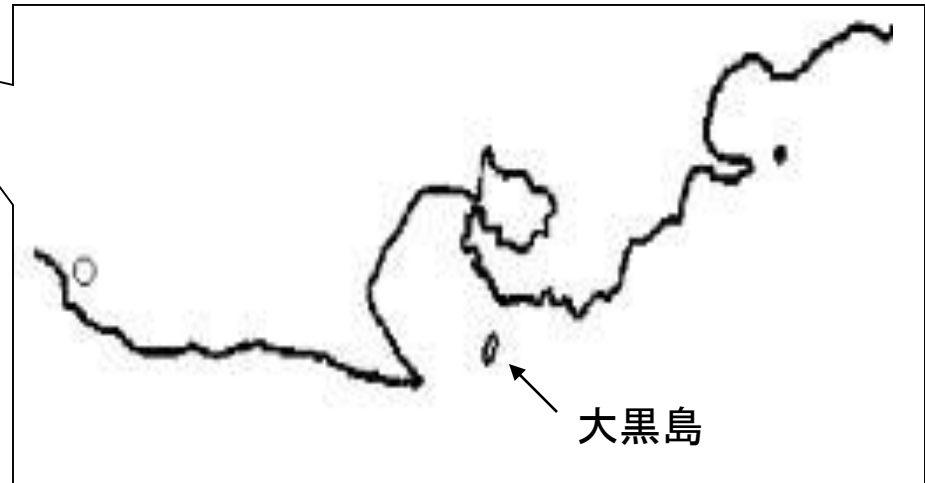


生息地と生息数



現在（2004年）日本には約
930頭のゼニガタアザラシが
生息しています。

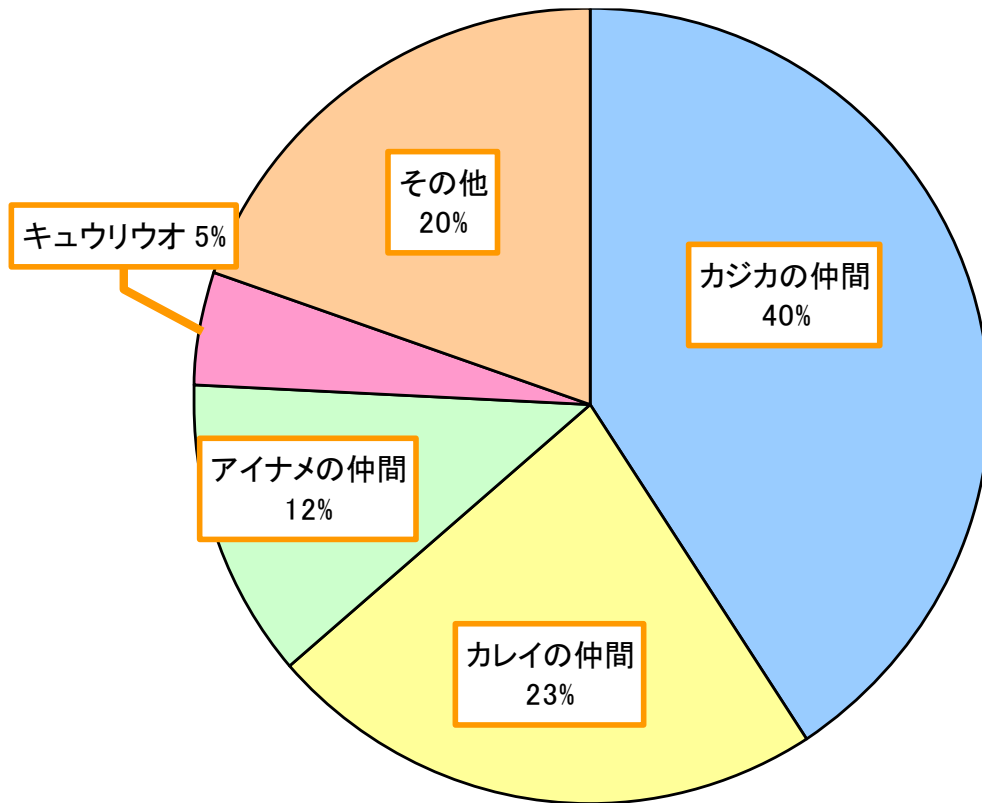
また、そのうち340頭が厚岸
に生息しています。



ゼニガタアザラシ(*P.v.stejnegeri*)は北海道東部の太平洋沿岸から南千島列島にかけて生息しています。

厚岸の大黒島は、多くのゼニガタアザラシが上陸することで有名です。

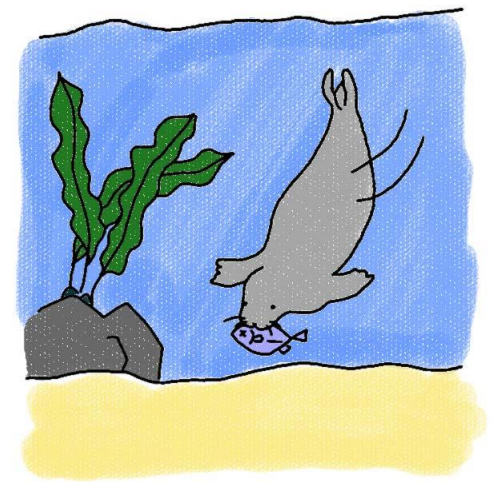
ゼニガタアザラシは何を食べてるの？



厚岸にすむアザラシのうんちを調べたところ、左図のようなものを食べていることがわかりました（季節や場所によって食べ物は変わります）。

これらの魚は、ほとんどが人間も食べるものです。

そのため、アザラシが網に入って魚を食い荒らしてしまう、などの問題がしばしば起こります。



漁業とゼニガタアザラシ

魚を食い荒らされる以外にも、アザラシが網の中の魚を追いかけて外に出してしまったり、アザラシが網のそばを泳いでいるため魚が寄りつかないといった問題も起こります。

また、ときには、アザラシ自身も網にかかって窒息死してしまうこともあります。

アザラシがひっかかった網は使い物にならなくなってしまふことが多く、漁師さんにとってもとても困ったことなのです。



<トッカリ食い>

網をあげると、このように頭のないサケが出てくることがあり、アザラシの仕業だと思われています。「トッカリ」というのはアイヌ語でアザラシのことです。



問題の解決のために

では、いったいどのくらいの量の魚が食い荒らされているのでしょうか？
また、何頭ぐらいのアザラシが網にかかっているのでしょうか？
アザラシと漁業の問題を解決するために、正確なデータはとても重要です。

そこで、ゼニガタアザラシ研究グループでは、
厚岸のサケ定置網漁やししゃも漁の船に乗せて
もらって調査を行っています。



↑秋サケ定置網漁

←ししゃも漁

調査で分かったこと

厚岸のサケ定置網漁ではトツカリ食いの数はそれほど多くありませんでした。

これは、厚岸の海にいろいろな種類の魚がすんでおり、アザラシがいろいろな魚を食べることができるためだと思われます。

しかし、漁種によっては、アザラシに大量の魚を食べられてしまって商売にならないと話す漁師さんもいます。

網に入ってしまうことは、アザラシにとっても、人間にとってもよくないことです。

アザラシと漁業の問題の解決のために、これからも調査を続けていきたいと思えます。

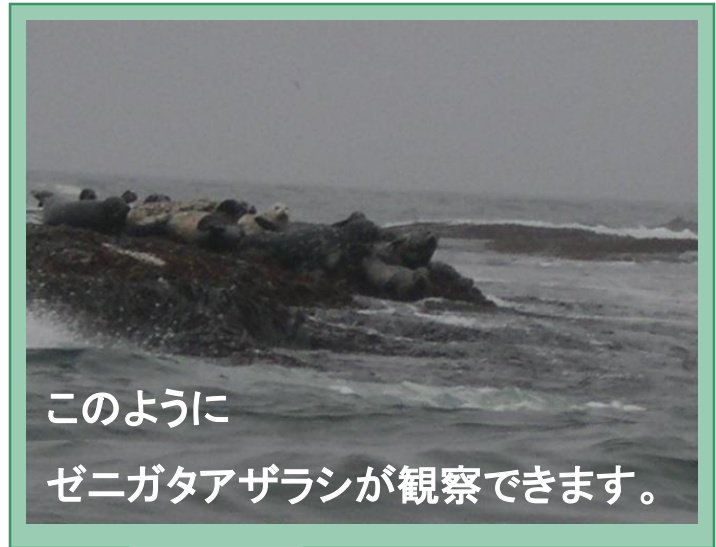
2004年の厚岸のサケ定置網漁では、春に5頭、秋に10頭の計15頭のゼニガタアザラシが網にかかっています。

また、サケ定置網漁以外の漁でも、網にアザラシが入ることがあるようです。

ウォッチングツアー

漁業に問題を起こすアザラシですが、厚岸では、漁船によるアザラシウォッチングツアーも行われ、観光資源としても利用されています。野生のアザラシを見れるだけでなく、厚岸の自然や大黒島の歴史についても学べます。人と自然の関係を考えるよい機会となるのではないのでしょうか。

ツアーで
訪れる大黒島。



このように
ゼニガタアザラシが観察できます。

気をつけて！！

もし、アザラシが辺りをきょろきょろしだしたら、あなたを怖がっているのかもしれない。急に立ち上がったり、大きな動きをしないように注意して下さい！

また、フラッシュを使った撮影も、アザラシが驚いてしまうのでやめて下さいね。

最後に

漁師さんとの会話で「アザラシなんかいなくなってしまう方がいいのに」という声を聞くことがあります。しかし、同時に「アザラシは昔からいたんだからしかたがない」「一頭もいなくなったらさびしい」という声も聞きます。

漁師さんは昔からアザラシを身近に感じながら暮らしてきました。アザラシがすめる海とは、魚の豊富な豊かな海です。これからも、この豊かな海を保ち、アザラシと人が仲良く暮らしていけるといいですね。どうすればこれからも仲良く暮らしていけるのでしょうか？

人とアザラシが共に生きる方法を一緒に考えてみませんか？

写真： 倉沢栄一 齋藤幸子

藤井啓 山田京子

絵： 山城須賀子



厚岸の皆様、そして漁師の皆様には調査中大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。